

## カナダ（バンクーバー・トロント）の研修報告

H.24. 11. 5～11. 12

11.5(月) 17:00 成田空港集合

19:00 エアカナダ機にて出発 機内食(夕食・朝食)

\* 飛行機が乱気流の中を通過するため大揺れになり、少々焦ってしまいましたが乗務員さん達は慣れているようでとても落ち着いていたので、安心して楽しむことにした。

11.5(月) 10:55 バンクーバー空港到着

日本人のガイドさんとカナダ人の運転手さんが待っておられた。

専用車にてレストランへ(昼食)

\* お腹も空いてないこともあったが、量の多さに圧倒されてしまった。

専用車にて市内へ観光

\* ギャスタウン・チャイナタウン・スタンレーパーク・ライオンズゲートブリッジをバスの中から観光、実際に降りて空気に触れてみる。

11.5(月) 16:00 フェアモントホテルバンクーバーに到着

\* ガイドさんがチェックインを行い部屋割り知らせてくれた。私は高野台保育園の永田先生と同じ部屋だった。(6泊共同じという事だった)

\* 17:45にホテルロビーに集合して徒歩にて、近くのレストランで夕食。

メインはサーモン…量の多さに圧倒されてしまった。地ビールはとても美味しかった。

\* 帰りにスーパーマーケットに寄りミネラルウォーターを購入する。

\* シャワーを浴びて、疲れているので(飛行機の中では殆ど眠れなかった)何時もより早く寝ようと思ったが、なかなか寝付かれず。トイレに何回も起きてしまった。でも、朝は快適に起きられたので良かった。



バンクーバー冬季オリンピック会場





フェアモントホテルバンクーバーの玄関ホール

11.6(火) 6:00に目覚める。7:00にレストランにて朝食(バイキング)

\* 食べられる量を自分で選べるので良かった。

11.6(火) 9:30にホテルロビーに集合し専用車にて最初の視察先であるバーウィック・チャイルド・デベロップメント・センター(バーウィック幼児発育センター)を訪問する。

◎バーウィックの概要等については訳資料参照

\* 1952年に10人の家族が始めた。

\* 発達障害…1965年にボランティアから始めた。

\* 1976年…スタッフに給料が支払われるようになった。

\* 2~3年後…ミックス(健常児・障害児)で受け入れるようになり、モデルケースになっている。

健常児80%…9:00~14:00で月~金

障害児20%…9:00~14:00で週2~3日

\* 色々な国の子どもたちがいる。(10~15)

\* 8ヶ国語が話せる人がいる。が、メインは英語である。(日本人の先生が2人いる)

\* 9月にクラス替えを行い55人受け入れた。担任は全員変えないで1人は持ち上がりにした。小さい子供にとって連続性を大切にしている。慣らし保育を行い、初めは保護者と一緒に1~2時間から行い、担任と連携を取りながら進めている。

\* 特別の音楽の先生が来て教えている。音楽を通して発達を支援している。

\* カリキュラムは年間はざっくり立てている。月単位で考え担任同士で話し合っている。健康に気を付けている。熱・嘔吐の時は24時間経過しないと登園出来ない。

\* 給食は出ないので弁当持参である。

\* 天候に関係なく(雨や雪が降ってもレインコートを着て)1日に1回は外に出るように決められている。(体調にも関係ない…体調不良の時は短時間にする)

- \* プールは温水である。…目的は水を怖がらずに楽しむためである。  
プールは発達障害の施設としてなので設置してある。
- \* 特別な資格を持った職員がいる。
- \* 0～3歳…4人に1人 4～5歳…8人に1人 放課後は10人に1人
- \* 5～6歳は幼稚園に行く。…公立なので無料である(今年は3人残っているが障害児)
- \* 就学前までのプログラムには、いろんなプログラムがあり保護者が選べる。





11月6日(火) 専用車にてレストランへ行き昼食(イタリア料理・ミートソースのパスタとサラダ)

11月6日(火) 13:30～ YWCA チャイルドケア施設に専用車で訪問する。

◎5階建てのビルで1F…CA(団体)とキッチン

2F…ケア施設

3F…事務所・病院施設

4・5F…住居(12室)

\* 1983年にオープン…家族支援を行っている。

8人のスタッフ(正規5人・非常勤3人)で24人の子どもたちを保育している。

\* 生活レベルの低い人が多い。主に女性の生活を助けている。

\* この土地は市の土地である。7億円掛けて建てている。

\* 非営利団体で寄付をした人のプレートが貼ってある。

\* ボランティアの人が色々な物を持って来てくれる。

\* ユナイテッドウェイという基金を募って集めている。…会社や州を使用して(年間35万ドル)バンクーバー市よりランチの予算を取っていて、第2月に作って食べている。

\* 定員は24人(6週～6歳)3歳以下12人・3歳以上12人

\* ドラッグやアルコール中の母親が多い。

\* シングルの父10% シングルの母90%

\* 色々な国の子どもがいる。日本人の子どももいる。

\* この施設は無料である。

\* 遊びを基本にしている。天候に関係なく、外遊びは必ず決まりなので取り入れている。

\* チャイルドより他施設の色々なサービスに応じて、その時に見合ったサービスで対応している。

\* 親に対してのセラピーを基本的に行っている。…オープンで聞いてくれる人が多い。

\* 法律で虐待は報告の義務がある。

\* スーパーアドバイザーは5年の経験が必要。5年間に40時間のトレーニングが必要。

\* 25年前に比べて年々変化している。チャイルドケアの中でもどうやってみていくかが、周流になってきている。

\* 子どもを守る。→調査→ホスターペアレンツ→最終的には親の方へ(成功した例もある)



